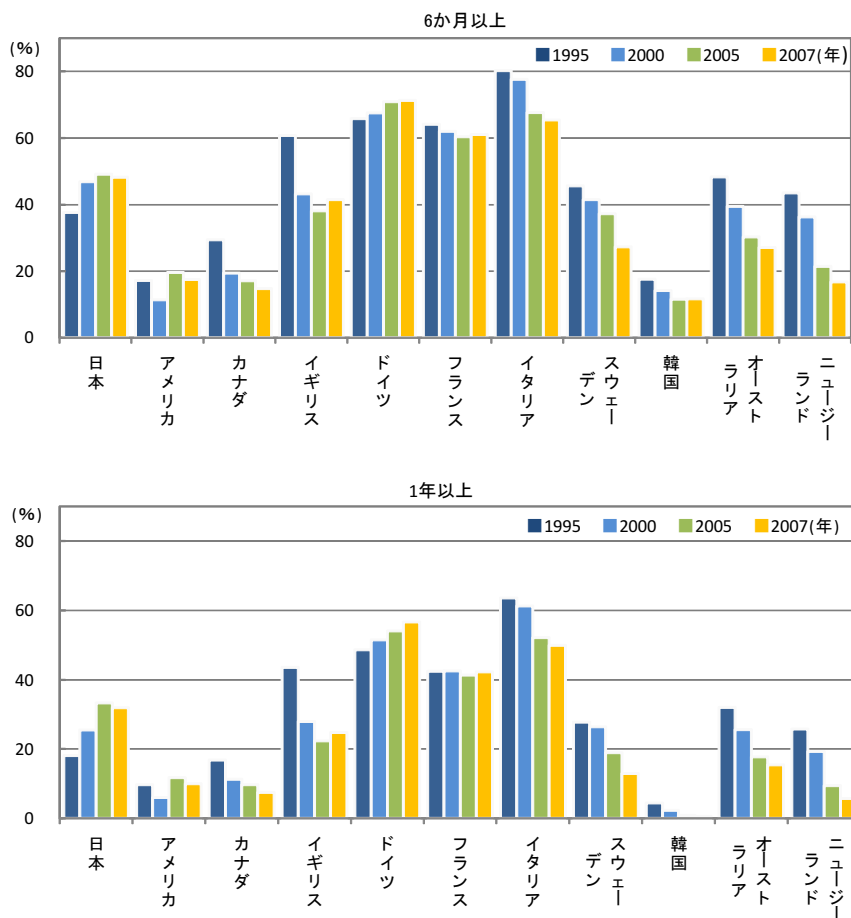


4-3 長期失業者の割合



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第4-5表 長期失業者の割合」(p.148)を参照。
(注) フランスの2007年は2006年値、スウェーデンの2005年は2004年値。

各国ごとに統計上の失業者の定義が異なるため厳密な比較はできないが、失業者に占める長期失業者の割合は、ドイツ、イタリア、フランスなど欧州大陸主要国で高く、2007年の1年以上の長期失業者の割合が4割を超えている。他方、北米諸国や韓国では1年以上の長期失業者の割合は10%以下と、かなり低い。

こうした動向の背景には、各国の経済成長率の差異等の景気動向のほか、慣行や政策制度面での差異など構造的な要因も影響していると考えられる。